

目的：家庭のリスクが複雑化・増大化している。これは今日の家庭経営を取り巻く外的社会環境の変化とそれに伴う家庭の機能・構造の変化が、経営外部的・内部的ハザードとなりリスクの発生に大きな影響を及ぼしているためである。家庭の安定と成長を脅かす要因をリスクとして捉え、家庭経営過程にリスクマネジメントを導入することは不可欠であり、本研究では家庭経営におけるリスクマネジメント (Family Life Risk Management) の理論と方法の体系化を目的としている。

方法：リスクの管理手法概念として、リスクマネジメント理論を援用する。すでに第1報にて家庭経営におけるリスクマネジメントのあり方及び理論的基礎の大枠を示した。本発表においては、従来のリスクマネジメント学におけるリスクへのアプローチのされ方について、その生成と現状を整理・分析し、問題点を考察する。

結果：ドイツのインフレリスクからの企業防衛政策と、アメリカのデフレ経済下の保険管理型危険管理を契機に生成・発展したリスクマネジメント学のリスク管理研究においては、経営の経済システムの側面に問題領域が設定され、家庭経営の持つ人間関係システムとしての側面へのアプローチがなされていない。ここで、家庭の社会システムとしての維持・存続への貢献をその本来的意義として有するリスクマネジメントの目的は、経営の資源と組織の両方を阻害する要因を管理することに据えられるべきことが指摘される。